



マスコミ関係各位

2019年4月8日

明治学院大学国際平和研究所共催 小笠原諸島文化講演会 国策に翻弄された硫黄島の130年 5/17(金) 明治学院大学 白金キャンパス

19世紀末以降、硫黄列島は日本の「南洋」進出を背景に入植地として発展しましたが、1944年の強制疎開で大多数の島民が故郷を失いました。残留を命じられ、日米の地上戦で命を落とした島民も少なくありません。その後、硫黄島は米軍と自衛隊によって排他的に利用され、施政権返還から半世紀経っても島民の帰郷は認められていません。困難な現状の中、故郷を奪われた島民の気持ちに寄り添いながら、どのような途を模索すべきか考える講演会を開催します。

主催の公益財団法人小笠原協会は、強制疎開から返還に至る小笠原諸島の歴史を発掘し検証するとともに、課題を明らかにする活動を進めています。同諸島の文化的、地理的、歴史的な特異性への理解を深め、これからの国境離島のあり方や、歴史の教訓として平和および地域文化の重要性に光をあて、社会に貢献することを目指しています。

講師の石原俊明治学院大学社会学部教授は、約20年、小笠原群島・硫黄列島の近現代史研究を行い、『近代日本と小笠原諸島—移動民の島々と帝国』(平凡社、2007年)、「〈群島〉の歴史社会学—小笠原諸島・硫黄島、日本・アメリカ、そして太平洋世界」(弘文堂、2013年)などを著し、2019年1月、『硫黄島—国策に翻弄された130年』(中公新書)を刊行しました。

ぜひ、この講演会の告知および取材をお願いいたします。

小笠原諸島文化講演会 国策に翻弄された硫黄島の130年 —中公新書『硫黄島』刊行を機に—

- 日時：2019年5月17日(金) 18:00~19:30 (17:30 受付開始)
- 会場：明治学院大学 白金キャンパス 本館10階大会議場 (東京都港区白金台1-2-37)
※お車でのご来場はご遠慮ください。
- 講師：石原俊 明治学院大学社会学部教授・国際平和研究所所員 (歴史社会学)
- 参加申込・お申込み先：公益財団法人 小笠原協会 FAX:03-3432-4487/E-Mail:kzho@ogasawarak.jp
※お申込みは、FAXまたはメールでお願いします。※一般公募は先着60名です。入場券を郵送します。
- 申込み期間：2019年4月15日(月)~5月10日(金)
- 入場：無料
- 主催・お問合せ先：公益財団法人 小笠原協会 TEL:03-3432-4921
- 共催・当日の連絡先：明治学院大学国際平和研究所
TEL:03-5421-5652/FAX:03-5421-5653/E-Mail:prime@prime.meijigakuin.ac.jp

掲載のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:濱口・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>